

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成27年												平成28年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~2日	10月 ~9日	10月 ~16日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	72	56	111	153	116	189	214	150	101	35	16 (21)	14
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	140	146	163	167	150	157	240	182	166	51	26 (33)	40
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	1
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	12	4	2	8	12	4	19	21	12	2	2	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	23	20	25	14	19	32	14	24	23	3	1 (4)	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	11	11	16	21	20	27	24	19	19	3	3 (8)	0
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	1	0	3	3	1	9	10	9	1	0	1
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	4	19	29	24	29	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
*その他の1件はアエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第41週(10月10日~10月16日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4			1		1		2
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					1		1
四類	4	重症熱性血小板減少症候群	1					1		
		日本紅斑熱	3			2				1
五類全数	2	クロイツフェルト・ヤコブ病	1							1
		麻しん	1							1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第41週 10/10～10/16)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 感染性胃腸炎

定点当たり5.83人と、例年同時期に比べて報告数が多い状況が続いています。

これからの季節はノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が流行するため、手洗いの励行や便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

2. インフルエンザ

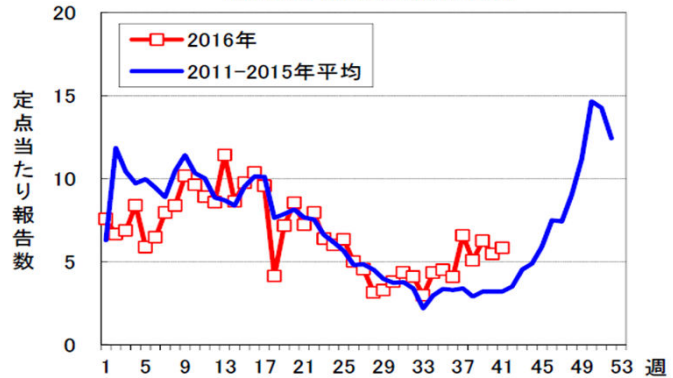
市内の定点医療機関から、15人(定点当たり0.41人)の報告がありました(迅速診断キット:A型陽性13人、B型陽性2人)。例年同時期に比べ報告数が多くなっており注意が必要です。

ワクチン接種は効果が出るまでに2週間程度かかるので、早めの接種をお勧めします。手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防に努めましょう。

3. 重症熱性血小板減少症候群

1件の報告があり、今年の累計は2件となりました。

感染性胃腸炎の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	15	0.41	0.01		↔	小児科	流行性耳下腺炎	5	0.21	0.71		
	咽頭結膜熱	5	0.21	0.26		↔	眼科	RSウイルス感染症	29	1.21	1.12		↔
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	1.21	1.25		↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05		
	感染性胃腸炎	140	5.83	3.20		↗	眼科	流行性角結膜炎	9	1.13	0.80		
	水痘	6	0.25	0.45		↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	手足口病	34	1.42	1.23		↔	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.06		
	伝染性紅斑	3	0.13	0.13		↔	基幹	マイコプラズマ肺炎	9	1.29	0.26		
	突発性発しん	14	0.58	0.54		↔	基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	百日咳	1	0.04	0.08		↔	基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	8	0.33	0.27		↘							

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ↔ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	122	女性(50歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	13	女性(20歳代)・O157
4	重症熱性血小板減少症候群	1	2	女性(70歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	7	男	2016/09/12	糞便	ノロウイルスG2群
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 上気道炎	2	男	2016/08/29	咽頭拭い液	エンテロウイルスNT
その他の呼吸器疾患	気管支炎	3	男	2016/09/04	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎	3	男	2016/09/04	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマ
その他の発疹性疾患	発熱(40.0) 丘疹 下痢 肝機能障害 頭痛	76	男	2016/09/30	血液	リケッチア ジャポニカ
その他の疾患	発熱(38.0)	0	女	2016/09/06	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスB3型
その他の疾患	肝機能障害 熱性痙攣	1	女	2016/09/07	咽頭拭い液	RSウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載